平成２６年１月発行

第1号
回答版

碧南市　名鉄跡地緑地整備事業　ワークショップニュース

「緑地と民地のつなぎ方、作り方」意見交換会のご意見を踏まえて遊歩道の設計や管理の考え方（案）を取りまとめました

平成２５年１１月１９日（火）に開催された、第１回「緑地と民地のつなぎ方、作り方」意見交換会への多数のご参加ありがとうございました。このニュースでは、当日寄せられたご意見を踏まえて、遊歩道の設計や管理の考え方（案）をまとめましたので、お知らせします。

住民アンケートや意見交換会で多かったご意見についての回答

（意見①）不審者の侵入やプライバシーの侵害が心配

⇒緑地と民地の境界部の侵入や目隠しの対策は、生垣や低木など緑化で対応したいと考えています。
⇒フェンスを設置する場合は民地側でお願いします。

（意見②）深夜に若者等のたまり場にならないか心配

⇒警察や学校、地域住民の方と連携する中で、そのようなことにならないように対策を行いたいと考えていますのでぜひご協力下さい。

（意見③）ごみ捨てされないか心配

⇒遊歩道でのごみ捨てはマナーの問題です。市民の皆さんと共に意識啓発に取り組んでいきます。

（意見④）大雨時に冠水する場所がある。排水対策をしっかりしてほしい

⇒排水不良の箇所については、遊歩道整備に併せて対策を検討していきます。

（意見⑤）自転車やバイクの通行が心配

⇒昨年度のワークショップでの検討を踏まえ、歩行者と自転車が共存して通行できるよう、遊歩道の幅は 4mを確保しています。
⇒自転車の利用者には、歩行者優先ということやスピードを出さないような注意喚起を行います。
⇒バイクは進入禁止とし、バイク通行禁止の看板を設置します。

（意見⑥）交通安全や防犯対策を行ってほしい

⇒遊歩道と道路が交差する箇所には横断歩道の設置やカラー舗装を行うほか、道路から遊歩道への出入り口には車止めを設置するなど、安全対策を行います。
⇒照明灯は広場や遊歩道の適切な場所に設置します。防犯カメラの設置の予定はありません。

（意見⑦）遊歩道への出入口を、ニーズに合わせて設置してほしい

⇒人の出入りについては、周辺施設や公園などへの動線を考慮して、遊歩道への出入口を作ります。
⇒車の出入りについては、民地から遊歩道を通過しての車の乗り入れなどはできません。

（意見⑧）景観や維持管理に配慮した植栽としてほしい

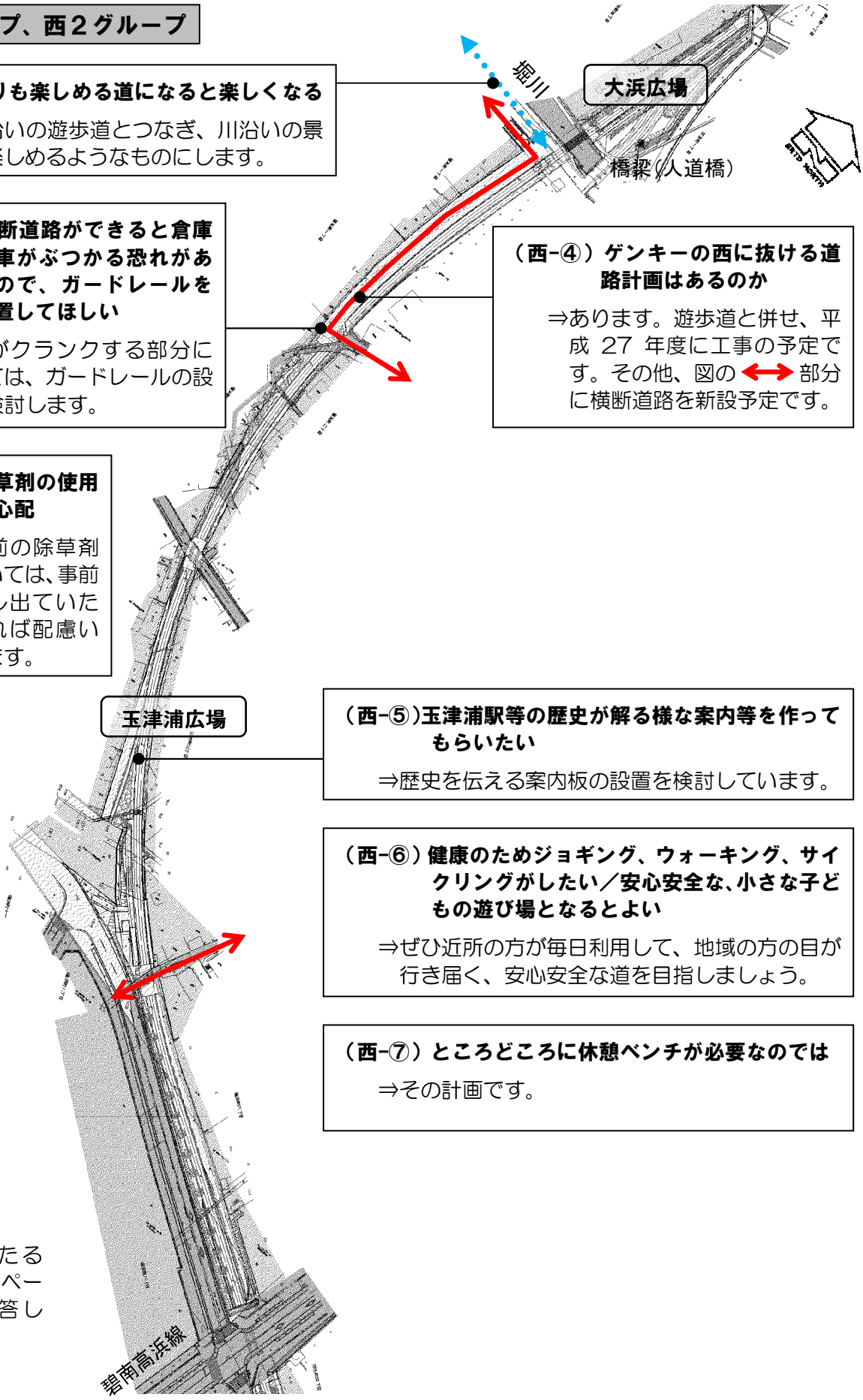
⇒落ち葉などがなるべく出ないよう配慮した植栽計画とします。
⇒名鉄跡地緑地が「市民に愛されるみち」になるために、整備後の維持管理や活用方法について市民と行政が一緒になって話し合う場として、「名鉄跡地緑地の使い方を考える会」を 12 月２日に市役所にて開催しました。
今後もこのような場を重ねていき、「担い手」探し、「担い手」育成をする中で、市民の皆様にお手伝いいただきながら協働関係の維持管理や運営の体制を築いていきたいと考えています。

（意見⑨）民地と緑地の境界線の処理についてＵ字溝などで仕切ってほしい

⇒U 字溝やブロックなどで境界を作ります。

意見交換会の各グループで出された意見についての回答※前ページ以外の内容

西１グループ、西２グループ



（西-①）釣りも楽しめる道になると楽しくなる

⇒堀川沿いの遊歩道とつなぎ、川沿いの景観も楽しめるようなものにします。

（西-②）横断道路ができると倉庫に車がぶつかる恐れがあるので、ガードレールを設置してほしい

⇒道路がクランクする部分については、ガードレールの設置を検討します。

（西-③）除草剤の使用が心配

⇒整備前の除草剤については、事前に申し出ていただければ配慮いたします。

（西-④）ゲンキーの西に抜ける道路計画はあるのか

⇒あります。遊歩道と併せ、平成 27 年度に工事の予定です。その他、図の ⟷ 部分に横断道路を新設予定です。

（西-⑤）玉津浦駅等の歴史が解る様な案内等を作ってもらいたい

⇒歴史を伝える案内板の設置を検討しています。

（西-⑥）健康のためジョギング、ウォーキング、サイクリングがしたい／安心安全な、小さな子どもの遊び場となるとよい

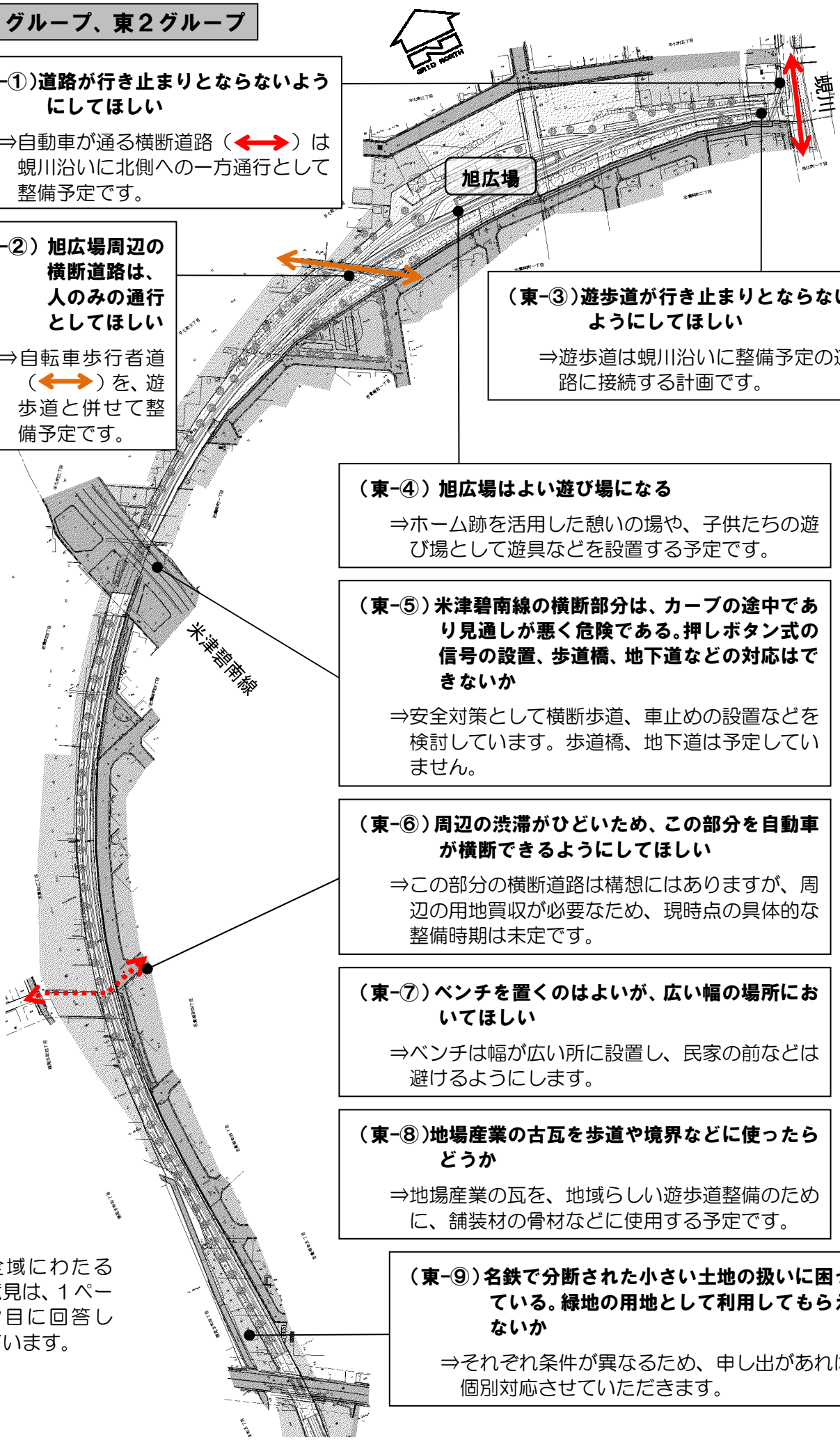
⇒ぜひ近所の方が毎日利用して、地域の方の目が行き届く、安心安全な道を目指しましょう。

（西-⑦）ところどころに休憩ベンチが必要なのでは

⇒その計画です。

※全域にわたる意見は、１ページ目に回答しています。

東１グループ、東２グループ



（東-①）道路が行き止まりとならないようにしてほしい

⇒自動車が通る横断道路（⟷）は蜆川沿いに北側への一方通行として整備予定です。

（東-②）旭広場周辺の横断道路は、人のみの通行としてほしい

⇒自転車歩行者道（⟷）を、遊歩道と併せて整備予定です。

（東-③）遊歩道が行き止まりとならないようにしてほしい

⇒遊歩道は蜆川沿いに整備予定の道路に接続する計画です。

（東-④）旭広場はよい遊び場になる

⇒ホーム跡を活用した憩いの場や、子供たちの遊び場として遊具などを設置する予定です。

（東-⑤）米津碧南線の横断部分は、カーブの途中であり見通しが悪く危険である。押しボタン式の信号の設置、歩道橋、地下道などの対応はできないか

⇒安全対策として横断歩道、車止めの設置などを検討しています。歩道橋、地下道は予定していません。

（東-⑥）周辺の渋滞がひどいため、この部分を自動車が横断できるようにしてほしい

⇒この部分の横断道路は構想にはありますが、周辺の用地買収が必要なため、現時点の具体的な整備時期は未定です。

（東-⑦）ベンチを置くのはよいが、広い幅の場所においてほしい

⇒ベンチは幅が広い所に設置し、民家の前などは避けるようにします。

（東-⑧）地場産業の古瓦を歩道や境界などに使ったらどうか

⇒地場産業の瓦を、地域らしい遊歩道整備のために、舗装材の骨材などに使用する予定です。

（東-⑨）名鉄で分断された小さい土地の扱いに困っている。緑地の用地として利用してもらえないか

⇒それぞれ条件が異なるため、申し出があれば個別対応させていただきます。

※全域にわたる意見は、１ページ目に回答しています。

公園愛護会として公園の維持管理活動や花植えをしてみませんか

碧南市では、市民の皆さんとの協議による、公園や街路樹などの清掃と除草、花を植える活動などを推進しています。活動してくださる団体には報奨金を交付しており、既に２９団体が活動しています。

公園を近所の皆さんで管理することで、公園への愛着が芽生え、住民同士の交流が深まるきっかけになるでしょう。

地域の皆さんの手で美しい公園を維持し、地域の憩いの場にしていきましょう。

市内の公園愛護活動の様子

「名鉄跡地緑地の使い方を考える会」がスタートしました！

第１回の「名鉄跡地緑地の使い方を考える会」が平成 25 年 12 月２日に碧南市役所で行われ、遊歩道の使い方に関心のある方や名鉄跡地に接してお住まいの方など、総勢３３名の方が参加しました。

来年度も、継続的にこの会を開催し、将来の遊歩道の愛護活動や、広場を活用したイベントの実現につなげていきたいと考えています。

「名鉄跡地緑地の使い方を考える会」の様子

■「使い方を考える会」にて出されたアイデア（抜粋）

- 朝市やフリーマーケットの開催
- 広場でギャラリースペースを設置
- 憩いの場となる木陰やベンチの設置
- どろんこ遊びできる水辺づくり
- 市民農園
- 四季の草花を植えてお世話
- 地元が関われる維持管理の内容を検討
- 自転車通行のルールを検討
- 地域の歴史を伝える案内板の設置
- 史跡めぐりの開催　など

◆第２回「緑地と民地のつなぎ方、作り方」意見交換会のご案内

- 第１回で出された意見を参考にして、事務局にて検討を行った設計内容の報告と、最後の意見交換を行い決定していきます。
- 本ニュースの内容も詳しくご説明いたします。
- たくさんのご参加をお願いします！

緑地と民地の境界の具体的な作り方についてのアンケートを送付しておりますので、期日までに返送をお願いします。

★開催日時：平成 26 年 2 月 25 日（火）19：00～21：00
★場　　所：棚尾公民館

碧南市　名鉄跡地緑地事業　第１号　回答版

ワークショップニュース

発行元・お問い合わせ
碧南市役所 開発水道部 公園緑地課 公園緑地係（担当：高須、小澤）
〒447-8601 愛知県碧南市松本町 28 番地
電話 0566-41-3311　FAX0566-46-9456　E-mail：kouenka@city.hekinan.lg.jp
URL：http://www.city.hekinan.aichi.jp/KOUENKA/index.htm